

校訓	真善美	 令和6年度 学校だより 「荒中だより」 12月 師走 December 第25号	発行日	令和6年12月25日
教育目標	自ら考え、行動し、 未来を創造できる生徒の育成 感謝する心、確かな学力、健やかな心身育てる		発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 山崎 佳恵

【 令和6年度 2学期 終業式 式辞 】

今日で4ヶ月の2学期が終わります。それぞれの学年から代表生徒のみなさんが今学期を振り返っての成長や思い出、今後の課題などについて述べてくれました。

印象的なことは、「全力でやりきった」「まわりの事を考えて言動できるようになった」「多くの人に支えられていると気づいた」など、仲間とともに過ごしてこそその成長に、感謝している事です。荒牧中学校の学校教育目標は、「自ら考え、行動し、未来を創造できる生徒の育成」です。2学期の始業式では、自ら考え、行動するチャンスがたくさんあるので、体育大会や学習発表会（合唱コンクール）などの行事への取り組みなどを通して、学級や学年の団結を高め、集団の中での自分をじっくりと見つめ、仲間と共に成長する機会にして欲しいと言いました。これらの行事を通して身についたことや、気づき、感謝の気持ちなどの成長こそが、未来を創造する力となります。『文武両道』を目標に、学問にも、スポーツにも、芸術にも、全力を尽くしてやりきることができたでしょうか？ 一生懸命取り組むことで見えた、新しい景色や感動が人の強さや豊かさになるのです。どの行事や取り組みでも、できないからといって、失敗したからといって、荒中生は、誰かのせいにして攻めたりしません。いつも支え合う、励まし合う、お互いを尊重する様子が見られました。この姿は、先生方が、みなさんの力を信じ、自立を目指して、たくさんのチャンスや仕掛けを作ってくださったからだと思います。見守ったり、寄り添ったり、アドバイスをしてくださる姿から、みなさんが学び取ったところが多かったと感じています。そして、自分の力を” 人のため ” に発揮している様子も多く見られました。そうすることで、自分も成長するし、仲間との絆が深まり、前向きになれる。だから、温かく居心地のいい場所で、互いに磨き合い高め合える事ができたのだと思います。

明日から冬休みです。3学期は、1年生は先輩になるための「2年生0学期」、2年生は、最高学年になるための「3年生0学期」です。3年生は、自分の力で、自分の進路をつかみ取るための追い込みです。冬休みは、3学期をスムーズに迎えるために3つの約束をお願いします。

ひとつは、「早寝、早起き、朝ご飯」健康管理に気をつけた生活です。睡眠時間は、記憶力、集中力を高めるために成長期みなさんには最低7時間（理想は、23時就寝、6時起床）が必要です。



ふたつは、身の回りの整理整頓、大掃除です。「身の回りの乱れは、心の乱れ。」環境は、人を創ります。



みっつは、家庭学習の時間は最低でも学年プラス1時間です。宿題だけではなく、復習したり、読書をしたりして、自分の時間を計画的に使いましょう。勉強は、自分で幸せを掴むため、自分で未来を掴むためにするのです。受験は、団体戦です。1、2年生も自分事として、義務教育が終わる中学校の出口で困らないよう頑張ってください。



最後に、インフルエンザが猛威を振るっています。コロナ禍で鍛えた自分の命の守り方を発揮して、冬休みならではの行事や催しを楽しんで充実したものにしてください。令和7年1月7日、3学期の始業式に、みなさんの元気な笑顔に会えることを楽しみにしています。